

岩手県の災害廃棄物

あの時から1年あまり

岩手県環境生活部
廃棄物特別対策室

被災地の現状

未曾有の大津波が残した爪痕

本村の犠牲者
・死亡者 37人（うち村民28人）
・行方不明者 0人

家屋の被害
・全壊 308棟 ・大規模半壊 135棟
・半壊 33棟 ・一部破壊 26棟

特報 東日本大震災大津波
巨大津波は11月11日起きた東日本大震災
大津波に襲われた被災地を伝えます。

航空写真で見る各地区の被害
各地区の被害状況については6～8頁

城内地区の被害

村の中で最も被害が集中していた城内地区が、一面瓦礫の山に変わってしまった。被災野原のような風景に変わり果てた。これまで見慣れていた、きれいな風景は、これまでにない惨状に変わってしまった。被災野原のような風景が見えるようになったのは、この津波が来た後だ。被災野原のような風景が見えるようになったのは、この津波が来た後だ。被災野原のような風景が見えるようになったのは、この津波が来た後だ。

城内地区の航空写真。旭町や本町の住宅の大半が破壊され、焼け野原のような景色が広がる。

3 2011年4月号 No.456 広報のた 2

野田村の広報より

被災地の現状



被災前

被災後



田野畑村内

被災地の状況



宮古市役所付近 (H23.3.11)

被災地の現状



被災直後

昨年秋



大槌町内

岩手県の被害状況

- 死者 4,671名
- 行方不明 1,213名

- 家屋倒壊数 24,877 棟

災害廃棄物の仮置場



大槌町仮置場のひとつ

災害廃棄物の仮置場



山田町仮置場のひとつ

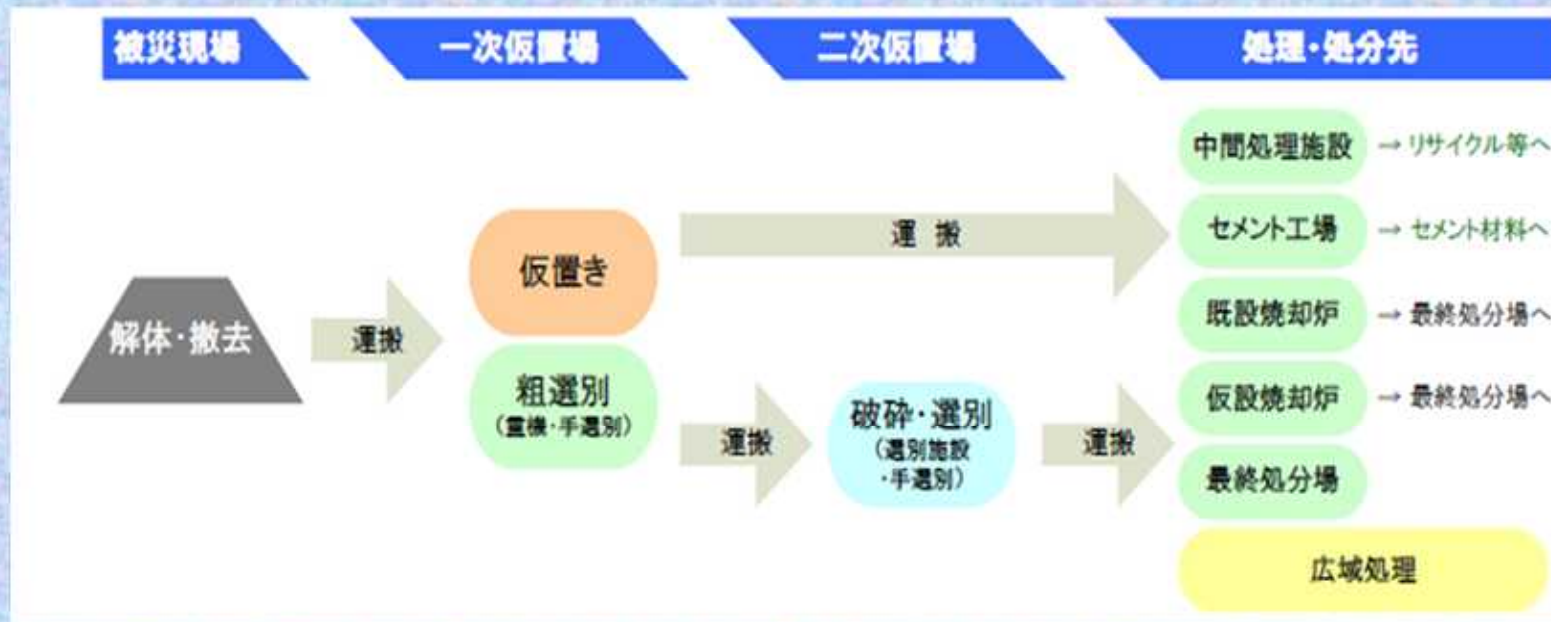
- 数か所の仮置場で**火災**が発生
- 今年夏には再び**悪臭**や**害虫**等の発生が懸念



(仮置場における火災発生状況)

岩手の災害廃棄物処理

岩手県災害廃棄物処理詳細計画 (H23.8.30)
に基づき実施。



処理のスケジュール

被災現場からの撤去：

平成24年3月末まで (1年)

災害廃棄物の処理：

平成26年3月末まで (3年)

災害廃棄物の量

約435万t

岩手県内の一般廃棄物量の
約10年分に相当

岩手県内で全量
処理出来ないの？
どうして広域処理が必要なの？



435万tのうち、焼却や埋立て等の 処理が必要な量は、約183万t

種類	量
柱材・角材	593,100t
可燃物	727,600t
不燃物	505,700t
コンクリートがら ・堆積物	1,706,100t
金属くず ・その他	820,500t
合計	4,353,000t

焼却、埋立て、リサイクル(木
材ボード、セメント原料等)
(計1,826,400t)

復興資材として活用

業者に売却等

岩手県内では

県内施設を**最大限活用**

(市町村の清掃センター、セメント工場等)

仮設焼却炉も整備

(宮古地区95t/日、釜石地区109t/日)

 **県内でできる限りの処理を実施**

施設を最大限活用しても、**県内で3年以内**に処理可能な量は、**約125万t**

柱材・角材	可燃系	不燃系
44,100t	776,500t	432,500t

岩手県内の市町村焼却炉や産廃処理施設を最大限に活用して平成26年3月末までに処理出来る推計量

太平洋セメント搬出予定分は可燃物に計上

岩手県内だけでは処理
が間に合わず、3年以内
に処理するには広域処理
が必要

広域処理が必要な量は

約57万t

柱材・角材	可燃系	不燃系
471,100t	29,000t	73,200t

国が「災害廃棄物の広域処理の推進に係るガイドライン」を示し、**広域処理の際の安全基準**を提示

安全に埋立て可能：8000Bq/kg以下

安全に再生利用可能：100Bq/kg以下

岩手県での測定結果

おもな市町村の可燃物のベクレル数値

単位：Bq/kg

洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村
一部ND (39)	全てND (38)	全てND (73)	一部ND (40)	全てND (46)

宮古市	山田町	大槌町	陸前高田市
一部ND (69)	一部ND (46)	一部ND (80)	104

NDとは、
不検出

検出下限値を下回ったものについては、検出下限値を測定値とした。
陸前高田市の災害廃棄物は、全て県内で処理する予定。

岩手県での測定結果

宮古市および、大船渡市と陸前高田市

単位：Bq/kg

焼却炉	災害廃棄物の発生地域	焼却物における災害廃棄物の割合	主灰のセシウム濃度	飛灰のセシウム濃度
宮古市清掃センター	宮古市	27%	10	133
太平洋セメント大船渡工場	大船渡市 陸前高田市	100%	194	905

ガイドラインに沿っての広域処理



積込みの様子

貨物列車に積載



東京都への搬出 11月2日

東京都の測定結果 11月30日

宮古の災害廃棄物受入施設 4事業所

可燃物	リサイクル・ピア	高俊興業	リーテム	有明興業
遮蔽線量率 $\mu\text{Sv}/\text{時}$ (平成23年11月10日(リーテム:14日))	0.001	0.000	0.001	0.000
放射性物質濃度(放射性セシウム) Bq/kg (平成23年11月10日(リーテム:14日))	60	ND (<40)	95	111
不燃物				
遮蔽線量率 $\mu\text{Sv}/\text{時}$ (平成23年11月10日(リーテム:14日))	0.002	0.001	0.001	0.001
放射性物質濃度(放射性セシウム) Bq/kg (平成23年11月10日(リーテム:14日))	ND (<40)	ND (<40)	ND (<40)	ND (<40)

岩手県の災害廃棄物は全てND(不検出)。(赤丸)
東京都の廃棄物との混合処理の場合は検出されている。

3月までに処理出来た量

435万トンのうち

およそ、49万トン

全体の約11%